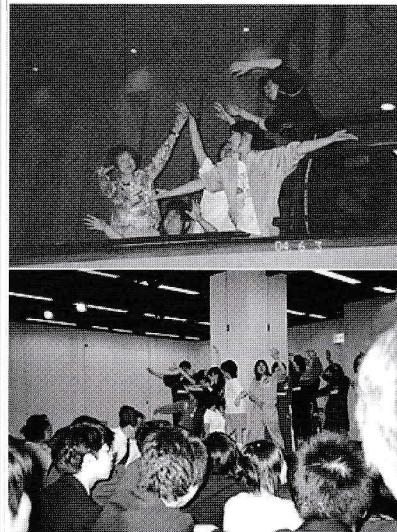


AMUSEMENT  
SQUARE

# stage



あつて、い  
いなど思  
いなと  
形に高  
度止まる度  
に違うボ  
ズでした。  
ました。

第二グ

## 日独演劇ワークショップに参加して —ドイツから学んだこと—

演劇空間スペースベン

（文／八戸東高校演劇部・久保沙悠里、富沢由宇、西山朋恵、高橋みづ穂）

「ストップモーション」では、手を少し横に広げるボーズでした。が、ハンカ

さんたちは、足を閉じたり開いたり、手を上げたり下ろしたりと、止まる度止まる度に違うボ

ズでした。

「ストップモーション」では、私はみんなの前で表情などを作るとき、恥ずかしがってしまい、曖昧になってしまつたのが残念でした。恥を捨て役になりきることができれば、もつと上手くなれると思います。

私たち多くは足を微妙に開いて手を少し横に広げるボーズでした。が、ハンカ

さんは、ハンカさんと一緒に「ストップモーション」と「感情表現」を指導してもらいましたが、私はみんなの前で表情などを作るとき、恥ずかしがってしまい、曖昧になつてしまつたのが残念でした。第一グループでは、ハンカさんに「ストップモーション」と「感情表現」を指導してもらいましたが、私はみんなの前で表情などを作るとき、恥ずかしがってしまい、曖昧になつてしまつたのが残念でした。恥を捨て役になりきることができれば、もつと上手くなれると思います。

第一グループでは、ユーリアさんを中心

「空間構成」をやりました。人数

が多くだったので、短い時間で二つ

の絵を作るのは大変でしたが、そ

の前にやつた、壁を叩いて音の

大小を表現するのでは、観客が、

耳で聞くことによって不思議な空

間の広がりを味わっていたと思

います。ドイツの方々と直接話はで

きませんでしたが、身体で表現す

ることによって「楽しい」という

気持ちを通じたと思います。

第三グループは、クラウスさん

から指導をしていただきました。

演劇のワークショップなので、最

初から最後まで演劇に関するこ

とが、最初にやつたのはグループ

内での「元気（もしくは気合い）

の飛ばし合い」でした。ゲームの

ような感覚でやつたのですが、こ

れによつてグループ内のコミュニ

ケーションを深めることができた

と思います。これが劇中のセリフ

で、相手を観客だとすると、舞台

上から観客に「元気」を飛ばす、

そういう練習になつたのだと思

ます。

その後に、パントマイムでキャラ

クチボールをしたり、歩くスピー

ドを十段階に分けたり、少人数で

チームを作り「日の出」と「日の

入り」を表現したりと、様々なこ

とを考えながらやらないといけま

せんでした。しかし、どれも人と

のコミュニケーションが必要なも

の。演劇は役者と役者、スタッフ

や観客と、それぞれのコミュニケ

ーションが大切だということを学

びました。

他に感じたのは、ドイツの方々

が勉強熱心、そしてフレンドリー

だということです。前々日に、八

戸東高校の表現科の授業と部活動

の見学にいらしていただけたので

が、私達の活動を見てメモを取った

り、熱心に質問をしたりしておら

れました。また、帰りに日本語で

挨拶をしてくださつたので、変に緊張

することもなく、楽しく学ぶこと

ができます。

今回のワークショップでは、身

体の使い方、音を使っての表現、

静と動の使い分けなど、本当に

色々なことを学ぶことができたと

思います。毎日の練習に取り入れ

たりして、これらの活動に生か

しています。これから活動に生か

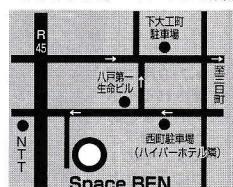
しています。



## 7月の Friday Amusement Negative Shop

- 7月2日 (543回)
  - 7月9日 (544回)
  - 7月16日 (545回)
  - 7月23日 (546回)
  - 7月30日 (547回)
- \*それぞれいずれもオープンライブとなります。

※全て午後7時30分～、料金500円  
チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。  
(近くに西町駐車場有り)

問　スペースベン  
八戸市柏崎1-11-8  
0178-43-9876  
FAX 03-5908-9120

\*スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

tsutomu.tanaka 070-5095-2028  
スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>  
メールアドレス owner@spaceben.com

## 劇団紹介

### 劇団トランジスタ☆メガホン（トラ☆メガ）

青森大学演劇団健康卒業生を中心に平成15年春、主宰・近藤直子とさきがけトカレフにより結成。と、同時に函館で旗揚げ公演。劇団結成を知る由もなく、青森から客として来た佐藤正道と斎藤太一は「え、入ってるよ。」の主宰の一言で入団決定。しかし劇団員は大学卒業と共に、現在日本各地へ点在となってしまう。まだ全員揃った事はないが、各自演劇活動へ参加。トラ☆メガという存在が皆を繋いでいる。主宰・近藤直子は、地

元函館でプロデュース公演や野外劇、合唱などに参加。今春、居合初段獲得。面倒見の良さから皆からは信頼されている。主宰の不夜城・函館本部、トラ☆メガ最大・青森支部、最先端・東京支部、新天地・神奈川支部と、劇団員は増えていないが、支部が増えている。今後は、秋に函館で主宰プロデュース公演予定（詳細未定）。佐藤正道の脚本が秋に二本（同時上演）、冬に劇団夢遊病社プロデュース公演で一本予定（共に青森）。